



2つの銀河がいっしょにきれいな光のかざりつけ



今ごろは、世界中どこでも、一年の終わりと新年のお祝いに、きれいな電気のかざりをつけていることと思います。この最近の写真に見える、ぶつかり合う2つの銀河は、そんなお祝いのための宇宙からのおくりものです。銀河のうずには、ピンク色のかわいい光のリボンが飾（かざ）られているみたいでしょ。

これら2つの銀河は、それぞれが宇宙を移動していてすれちがい、はじがこすれ合っているようすを写真にとられたのです。2つの銀河の出会い、今までに見たなかで最も素晴らしい、とっても明るいX線の星々の光をつくり出したのです。写真にある28このピンクのあわい光のそれぞれは、特別な、極端（きょくたん）に明るい天体で、「超大光度X線源」、略してULX (ultra-luminous X-ray source) といいます。

このULXが本当はどんなものか、まだよくわかっていません。でもほとんどの科学者は、ULXは、たぶんとっても奇妙（きみょう）な仕組みになっていて、ふつうの星とブラックホールが、たがいに周りあっていて考えています。そのブラックホールは、おそらく私たちの太陽の約5倍から10倍も重いのですが、そのほかにももっと重い、太陽の100倍のものや、なかには1000倍も重いものさえもあるかもしれません。

研究者たちは、ULXになる恒星は、とても若いと考えています（少なくとも星の一生で考えると、ですが）。私たちの太陽が約50億才であるのにたいして、これらの星たちは、おそらく1000万才くらいです。

このことが、なぜほとんどのULXが、うずまき銀河のうちの中で見つけられているか、という理由になります。そこはたくさんの新しい星が作られるところなのです。

COOL FACT

これらの銀河では、私たちの銀河よりも10倍も速いスピードで新しい星が生まれています。